

第 10 章

施策の実施計画の策定・実施

第10章 施策の実施計画の策定・実施

1. 実施すべき施策と段階的な保存・活用の推進

第5章から第9章で述べた「基本方針」「保存（保存管理）」「活用」「整備」「管理体制の整備」に係る方針及び方法を踏まえ、本章では施策の実施計画を策定する。施策の実施にあたっては、奈良県及び明日香村の文化財・公園・観光部局が主な事業主体となり、周辺の文化観光施設の事業者と共同して飛鳥宮跡の保存と活用を図るものとする。

本計画の計画期間は2030年度末（令和12年度末）までの約10年間とする。飛鳥宮跡の活用については、第7章に示したとおり、現状で可能な取組みから実施する。具体的には既に公有地化され、発掘調査や史跡整備が行われたエリアを中心に維持管理しながら活用することから始め、段階的な整備の進捗に応じて活用方法を進化させる。計画的な発掘調査と知見の蓄積に基づき、史跡の追加指定、公有化を進めながらハード・ソフト両面での整備を進め、2030年度末（令和12年度末）のガイダンス施設等の完成供用を目指す。

また、（仮称）飛鳥宮跡保存活用連絡協議会を定期的を開催し、施策の実施状況について経過観察と評価を行う。

(1) 前期(2021(令和3)～2023(令和5)年度)

公有地の一部が史跡整備され、年2回程度の草刈り、または景観保全策として行政財産使用許可により市民による稲作が実施されている。周辺のサービス施設として、飛鳥京跡苑池メインエントランスの休憩所・トイレが利用可能である。

現地における仮設の解説サイン、パンフレットやSNS等で最新情報を提供し、飛鳥周遊観光における一つの拠点として、また、既存イベントの会場として活用する。

広場・解説サイン・誘導サインの仮整備やスマホアプリ、体験型プログラム、パンフレットの制作を行う。

○歴史的風土の中のかつての宮殿空間を体感する仕掛けづくり

[活用 P7-3～6 / 整備 P8-2～5]

- ・令和4年度の開始を目処とした発掘調査の計画を立案する。内郭だけでなく、外郭についても宮の範囲や構造を確認するための発掘調査を継続的に実施する。計画的な発掘調査によって飛鳥宮跡についての知見を得るとともに、現場公開を設定することで「本物を見せる」機会を提供する。（橿原考古学研究所）

- ・内郭南方地区（1－2地区）の史跡指定地の公有化を推進する。（奈良県）・ARアプリ、体験型プログラム等を制作する。（奈良県・明日香村）・園路広場、解説サイン、及び宮の領域表示の仮整備を行う。（奈良県）

- ・現明日香村役場建物の利活用について検討する。（明日香村・奈良県）
- ・様々な来訪者に対応する歴史展示・解説のあり方を検討する。（奈良県・明日香村）
- ・計画的な除草、清掃を行う。（奈良県）

○整備状況や知見の蓄積に対応した活用の取組み[活用 P7-7]

・整備基本計画の検討において、段階的な活用の進化を念頭に置いたハード・ソフト整備のあり方を考える。(奈良県)

○地域住民や来訪者が快適に過ごせる空間づくり[活用 P7-8/整備 P8-6]

- ・インタープリター養成講座やスタッフ接遇講習を行う。(奈良県・明日香村)
- ・ボランティア等の育成、ボランティア等によるガイドツアーを行う。(奈良県・明日香村)
- ・仮整備した広場等を利用したイベントを開催する。(明日香村・奈良県)
- ・飛鳥宮跡の活用を踏まえた管理運営体制のあり方を検討する。(奈良県)

○周辺の歴史文化資産等とのネットワークづくり[活用 P7-9/整備 P8-6]

- ・周辺の歴史文化資産等において飛鳥宮跡・飛鳥京跡苑池の案内を行う。(奈良県)
- ・明日香村周遊歩道からのアクセス性向上のための園路広場・誘導サインの仮整備を行う。(奈良県)
- ・周辺の公共施設(飛鳥京跡苑池・県立万葉文化館・明日香村役場)のトイレ・休憩所等の利用を想定し、それらの管理者と調整を図る。(奈良県)

○時代の流れを旅の中で感じながら飛鳥宮跡を訪れる仕掛けづくり[活用 P7-11]

- ・整備基本計画の検討過程や策定後の公表を通して、飛鳥宮跡活用の取組みをプロモーションする。(奈良県)
- ・SNS等による情報提供、リモートガイドツアーの開催等により、国内外に飛鳥宮跡の魅力を発信する。(奈良県・明日香村)
- ・飛鳥宮跡の本質的価値や活用への取組みに関するパンフレットを作成し、周辺の歴史文化資産における案内所やホームページ等で配布する。(橿原考古学研究所)

(2)中期(2024(令和6)～2026(令和8)年度)

仮設の広場・解説サイン等が整備され、飛鳥京跡苑池、明日香村役場移転跡、県立万葉文化館からのアクセスルートが確保されている状況である。

発掘調査現地説明会・ガイドツアー・体験型プログラム等を展開し、様々な主体により積極的な活用を行う。

宮の領域、内郭内部の建物の配置の遺構表示等を行うとともに、史跡指定地を含む周辺を都市計画公園として計画決定し、公園施設として休憩・便益施設、管理運営拠点施設等を整備する。

○歴史的風土の中のかつての宮殿空間を体感する仕掛けづくり

[活用 P7-3～6/整備 P8-2～5]

- ・計画的に飛鳥宮跡の発掘調査を行い、現場説明会等を実施する。(橿原考古学研究所)
- ・古代の祝祭の再現イベントの開催、体験プログラムの提供等を行う。(明日香村・奈良県)
- ・(仮称)「あすかのみや」再生プロジェクトを展開する。(奈良県・明日香村)

- ・管理運営拠点において周辺の歴史文化資産等の案内を行う。(奈良県・明日香村)
- ・園路広場、宮の領域(範囲・大きさ)、建物の配置(位置・大きさ)の遺構表示、及び解説サインを整備する。(奈良県)

○地域住民や来訪者が快適に過ごせる空間づくり[活用 P7-8/整備 P8-6]

- ・飛鳥京跡苑池等と連携したイベントを開催する。(明日香村・奈良県)
- ・飛鳥宮跡周辺に必要な駐車場、休憩所、トイレ等を整備する。(奈良県)

○周辺の歴史文化資産等とのネットワークづくり[活用 P7-9/整備 P8-6]

- ・飛鳥周遊歩道において誘導サインを整備する。(奈良県・明日香村)
- ・近鉄飛鳥駅、郊外駐車場からのアクセスルート沿いの景観や移動手段別の動線整備を検討する。

○多様な来訪者に対応したサービスの提供[活用 P7-11]

- ・SNS等による情報提供、リモートガイドツアーの開催など国内外に飛鳥宮跡の魅力を発信する。(奈良県・明日香村)
- ・飛鳥宮跡の本質的価値や活用への取組みに関するパンフレットを更新・配布する。(橿原考古学研究所)

○時代の流れを旅の中で感じながら飛鳥宮跡を訪れる仕掛けづくり[整備 P8-6]

- ・近鉄飛鳥駅、郊外駐車場からのアクセスルートの沿道景観づくり、来訪手段別の動線計画に基づく案内・誘導サイン等の整備を行う。(明日香村・奈良県)
- ・フリーWi-Fiを整備する。(奈良県・明日香村)

○管理運営組織の構築[運営体制の整備 P9-3]

- ・史跡飛鳥宮跡及びその関連施設の管理運営主体を定める。(奈良県)
- ・管理運営拠点施設を現地に設ける。(奈良県)

(3)後期(2027(令和9)～2030(令和12)年度)

宮の領域、内郭内部の建物の配置の遺構表示がなされ、休憩・便益施設、管理運営拠点施設が整備されている状況である。

現地でのVR映像等による歴史展示、南門広場等におけるイベント・体験型プログラム等を展開する。「あすかのみや」再生プロジェクト等により積極的な活用を図る。

明日香まるごと博物館づくりの拠点施設となるガイドンス施設等を整備する。

次期の保存活用計画の検討を行う。

○歴史的風土の中のかつての宮殿空間を体感する仕掛けづくり

[活用 P7-3～6／整備 P8-2～5]

- ・実物展示、模型展示、VR等様々な手法を用いた遺構の可視化等により飛鳥時代の宮廷生活の再現を行う。(奈良県・明日香村)
- ・宮跡の中核施設である内郭のうち、公的な空間利用がなされていたと考えられる南門や前殿、南正殿を中心としたエリア及び内郭南方部の広場の復元等整備を行う。(奈良県)
- ・管理運営拠点を併設したガイダンス施設を整備する。(奈良県・明日香村)

○地域住民や来訪者が快適に過ごせる空間づくり[活用 P7-8／整備 P8-6]

- ・年間を通してイベントを展開する。一定のルールを設けて持ち込みイベントを取り入れる。(明日香村・奈良県)
- ・飛鳥宮跡周辺に必要な駐車場、休憩所、トイレ等を整備する。(奈良県)

○多様な来訪者に対応したサービスの提供[活用 P7-11]

- ・SNS等による情報提供、リモートガイドツアーの開催など国内外に飛鳥宮跡の魅力を発信する。(奈良県・明日香村)
- ・飛鳥宮跡の本質的価値や活用への取組みに関するパンフレットを更新・配布する。(橿原考古学研究所)

2. 飛鳥宮跡の保存・活用スケジュール

段階的な活用と整備を踏まえたスケジュール(案)を表10-1に示す。

表10-1 飛鳥宮跡の保存活用・整備スケジュール(案)

実施項目	前期		中期			後期	
	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)	~ 2023年度 (令和5)	2024年度 (令和6)	~ 2026年度 (令和8)	2027年度 (令和9)	~ 2030年度 (令和12)
史跡指定地の公有化・追加指定	→ (継続)						
調査研究	→ (継続)						
歴史的風土の中のかつての宮殿空間を体感する仕掛けづくり		解説サイン、宮の領域表示の仮整備	基本・実施設計	遺構表示、解説サイン等の整備	基本・実施設計	展示整備	→ (継続)
		ARアプリ・体験型プログラム等制作、インタープリター育成					→ (継続)
		祝祭イベント開催、体験型プログラムの提供					→ (継続)
整備状況や新たな知見に対応した活用の取り組み	保存活用計画の策定	整備基本計画の策定	広場の仮整備	基本・実施設計	広場等の整備	部分供用	保存活用計画の改定
				5年目評価			
地域住民や来訪者が快適に過ごせる空間づくり	明日香村役場・万葉文化館の休憩所、トイレ等の使用	明日香村役場移転跡地の暫定的な利用	基本・実施設計	休憩所等の整備	部分供用		
				既存イベントの飛鳥宮跡での展開		年間を通したイベントの開催	→ (継続)
周辺の歴史文化資産等とのネットワークづくり		誘導サインの仮整備	基本・実施設計	園路、誘導サインの整備	基本・実施設計	復元施設・ガイダンス施設の整備	
		パンフレット作成		パンフレット更新		パンフレット更新	
				既存ソフト(なら飛鳥京歴史ぶらり等)の活用、ガイドツアーの開催			→ (継続)
多様な来訪者に対応したサービスの提供		情報の多言語化等の検討		フリーWi-Fi整備		様々な来訪者、来訪パターンに対応した情報提供	→ (継続)
時代の流れを旅の中で感じながら飛鳥宮跡を訪れる仕掛けづくり				主要アクセスルートの整備			
		来訪動機を喚起するコンテンツの検討・製作・提供					→ (継続)
経過観察		(仮称)飛鳥宮跡活用連絡協議会(1回以上/年)					→ (継続)
都市公園事業化			都市計画決定	事業認可	用地買収	指定管理者による管理運営 (継続)	
世界遺産登録	→						

